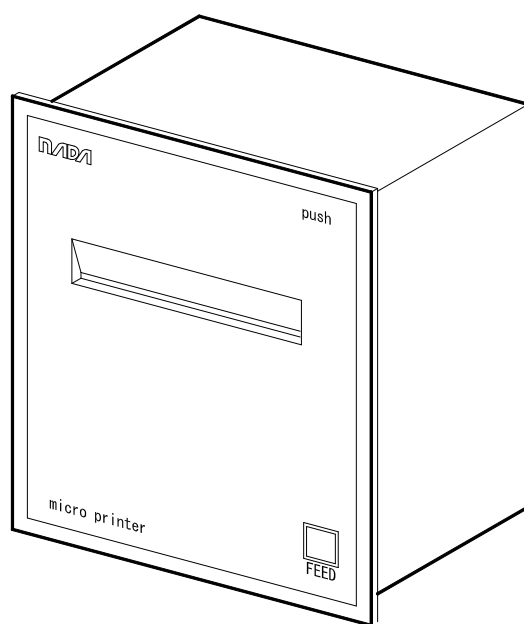


時計付マイクロプリンタ

CP/CCP-192A

操作説明書



この度は、時計付マイクロプリンタをお買い上げいただき、誠に有難うございました。
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、末永くご愛用くださるよう
お願い申し上げます。お読みになった後は、大切に保管してください。

ナダ電子株式会社

REV.1.1
技2S-200304

改訂記録

REV NO.	ページ	改訂内容	日付
1.1	19	8.周波数の設定 修正	22.12.09

***** 目 次 *****

□ 使用上の注意	1
□ 付属品の確認	3
□ 各部の名称	4
□ スイッチ内LEDについて	5
□ リボンカセットのセット方法	6
□ ロール紙のセット方法	7
□ 各種設定方法について（CP-192A）	8
□ 各種設定方法について（CCP-192A）	13
□ 手動印字について	21
□ 日付の自動印字について	21
□ ロール紙のカット方法	21
□ 内蔵時計の停電対策用電池について	22
□ 消耗品の購入について	22
□ 使用例	23

□ 使用上の注意

○設置について

- ・本機は振動が生じない様な場所で、ご使用ください。
- ・高温・多湿 又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。
- ・揮発性有機溶剤・アンモニア・油などの液体噴霧環境 又は 砂や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
- ・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界、腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。
- ・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）とは離してご使用ください。

○電源について

- ・電氣的なノイズを発生する機器（コンプレッサー等）からはなれたコンセントを使用してください。
- ・電源コードを濡れた手で取り扱わないでください。

○用紙について

- ・用紙の保管や扱いには特に注意して、変形や破損の生じる様な置き方、取り扱いはしないでください。
- ・湿気の多い場所 及び 乾燥しやすい場所に用紙を保管しないでください。

○用紙切れ

- ・用紙切れになった時は、FEEDスイッチのランプが約1秒周期で点滅します。
- ・印字中に用紙切れになった場合は、新しい用紙をフィードスイッチにより挿入し セットしてください。
- ・フィードスイッチをはなした後に 用紙がセンサーにて検出されると、プリンタは続きのデータを印字します。

○メカについて

- ・メカ部の主な板金部（プレス部）は メッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。
- ・メカ部リセット検出器にリードスイッチを使用している為、磁気の影響を受けない様に注意してください。

○印字ヘッドについて

- ・用紙 及び リボンカセットをプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。空印字しますと印字ヘッドやプラテンが傷みます。
- ・印字ヘッドが動いている時は、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。
- ・印字中に電源コードを抜かないでください。

□ リボンカセットについて

- ・リボンカセットは純正品をご使用ください。
- ・純正品以外のリボンカセットの使用は、リボンカセットの走行不良や印字ヘッドの劣化などの障害を起す事があります。純正品以外のリボンカセットを使用して 印字ヘッドが損傷した時の責任は負いかねます。
- ・リボンがたるんだ状態でのご使用は避けてください。

○印字品質について

影響を受ける項目	影響度	説明
印字文字数(行数)	大	リボンの寿命に影響し、印字濃度が薄くなります
印字間隔	大	連続印字の場合は印字濃度が薄くなります
使用環境	大	湿度が低くリボンが乾燥すると印字濃度が薄くなります
印字ヘッドの個体差	大	個体差により隣り合う文字に印字濃度差が出ます
製品間の個体差	小	個体差により同一条件下でも製品間で濃度差が出ます

○衝撃について

- ・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり物を当てたりして衝撃を与えないでください。

○水や異物について

- ・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。
- ・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源コードを抜いて購入された販売店までご相談ください。

○汚れについて

- ・本機の外装部ケース等の汚れは、柔らかい布に水又は中性洗剤を少し含ませて軽く拭き取ってください。
- ・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと筐体ケースの変色などの原因となります。

○故障の場合

- ・万一故障が発生した場合は、電源コードを抜いて購入された販売店までご相談下さい。

○その他の注意

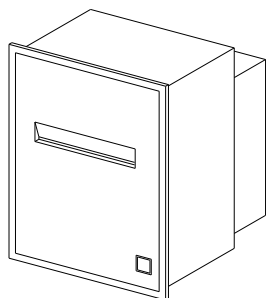
- ・本書の内容の一部又は全部を無断転載することはお断りします。
- ・本書の内容に関しては将来予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品がお客様により本書の内容に従わず不適當に取り扱われたり、またナダ電子(株)及びナダ電子(株)指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損傷等につきましては、責任を負いかねますのでご了承下さい。

(C)ナダ電子株式会社 2020

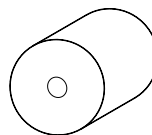
□ 付属品の確認

梱包箱より、本体部を取り出して、付属品を確認してください。

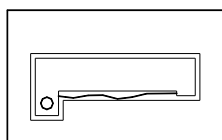
プリンタ本体



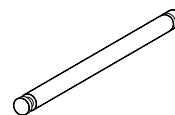
ロール紙 : NR-582



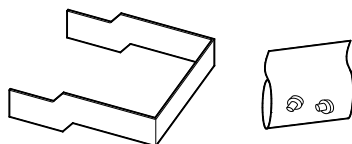
リボンカセット (黒) : IR-91B



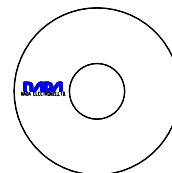
ロールシャフト : S-11



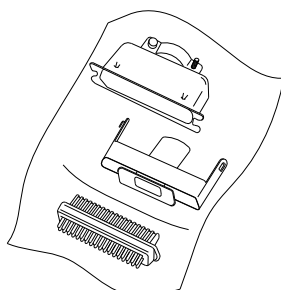
取付金具・ビス



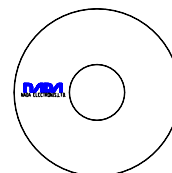
取扱説明書 / 操作説明書 (CD-ROM)



コネクタ : CP 57-30500 (DDK)
CCP 57-30360 (DDK)

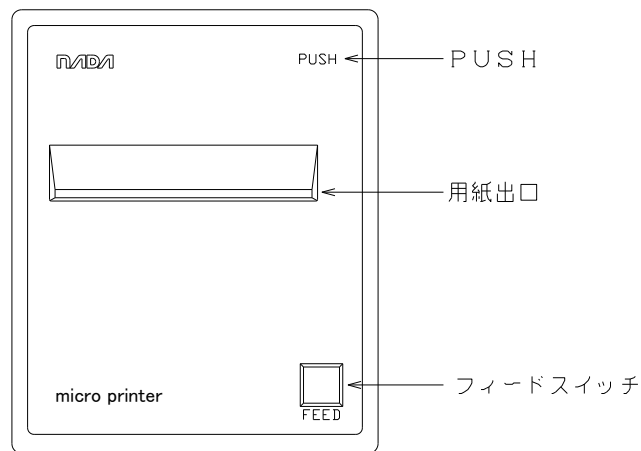


Toolkit (CD-ROM)



□ 各部の名称

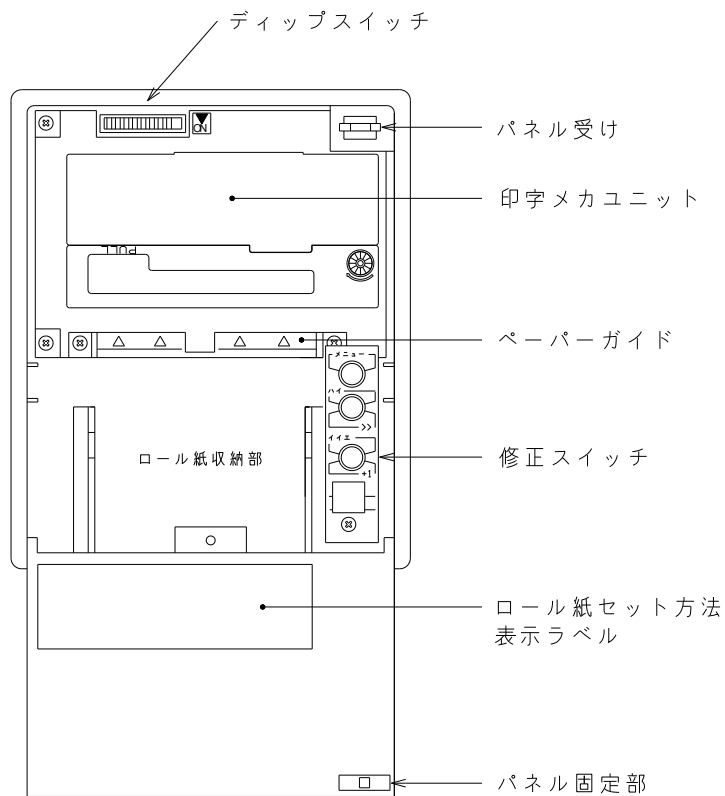
1. 前面



PUSH：ここを押すと 前パネルが開きます。
閉める時も ここを押し込んでください。

フィードスイッチ：スイッチを押すと 紙送りします。
押し続けると 連続紙送りを行います。
押しながら電源を投入するとテスト印字を行います。
テスト印字終了後は電源を再投入してください。

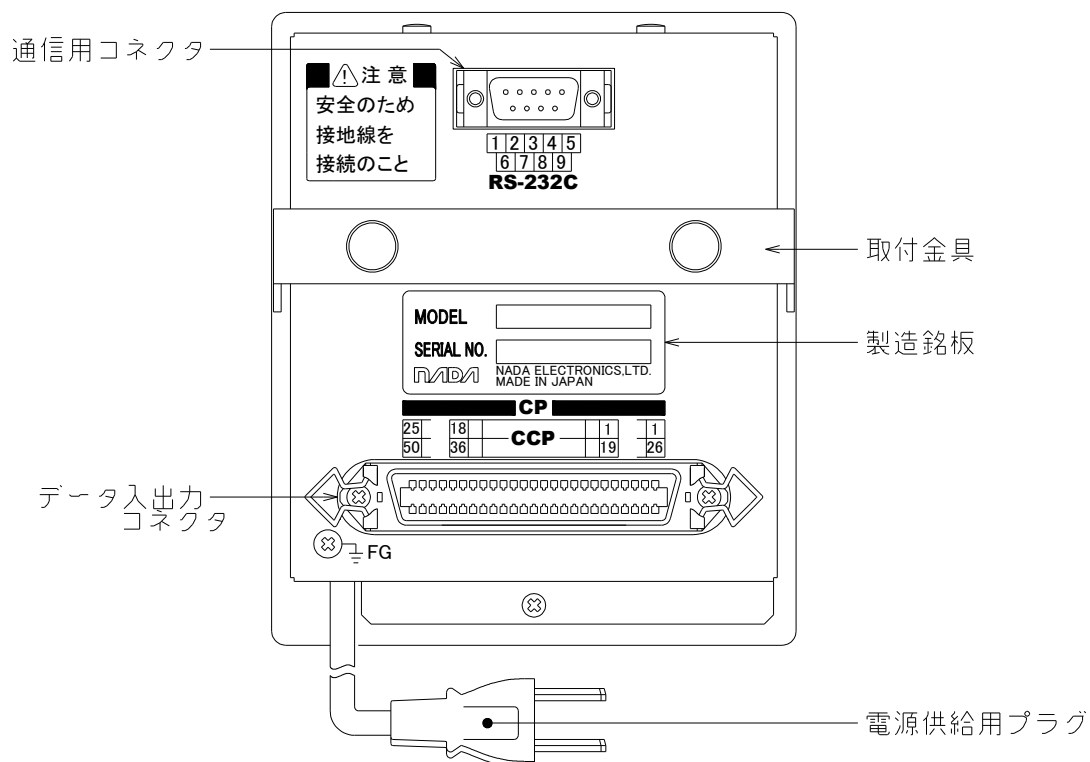
2. 内部



ディップスイッチの設定は取扱説明書を参照してください。
(設定状態を記録してください)

内蔵時計の時刻等の修正は [メニュー] により修正方法を印字させるか
□日付、時刻の修正方法を参照してください。

3. 背面



取付金具：付属の取付ビスを使用してください。

通信用コネクタ：RS-232C規格の通信用コネクタです。

データ入出力用コネクタ：信号用コネクタです。

CP-192Aの場合は50ピンコネクタです。

CCP-192Aの場合は36ピンコネクタです。

脱着時は必ずプリンタの電源を切ってください。

FG：安全のため接地線を接続してください。(D種接地)

□ スイッチ内LEDについて

フィードスイッチに内蔵されているLEDは次の条件で点滅します。

1. ペーパーエンド時

ロール紙がなくなると1秒間隔で点滅します。

ロール紙をセットすると点滅は停止します。

2. メカニズムエラー

印字メカニズムの動きが悪くなると印字、紙送り動作を停止し100msec間隔で点滅します。

メカニズムエラーは、電源の再投入で解除されます。メカニズムエラー時は、印字、紙送り動作を行いません。

度々メカニズムエラーが発生するようであれば、修理を必要とします。

□ リボンカセットのセット方法

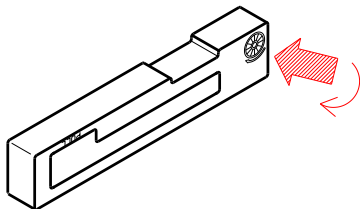
1. リボンカセットの挿入は 紙を除去した状態で行ってください。
2. 挿入する時は 予め リボンカセットのリボン送りローラを矢印方向に回転して、リボンをピンと張っておいてください。(下図1参照)
リボンカセットはプリンタの左右フレームの切欠部に リボンが渡る様に位置決めして、リボン送りローラをロックすることなく、上から軽く押さえてセットしてください。(下図2参照)
リボン送りローラを矢印方向に回転させながら押さえるとセットしやすいです。
尚、挿入する時にリボンが捲れ上がってしまった場合は、セットした状態で 更にリボン送りローラを回転させるにより リボンを所定の位置まで下げることが出来ます。(下図3参照)
3. 取り外す時は、リボンカセットのPULL部を引くと持ち上がります。続けて、リボン送りローラ側を引くことで取り外せます。(下図4参照)



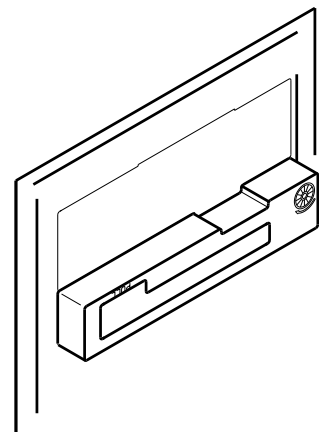
注意

リボンカセットは、純正品（IR-91B）を使用してください。
純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

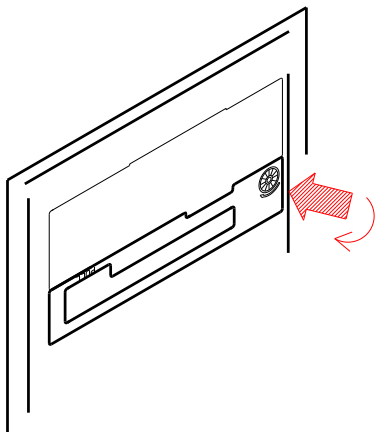
①



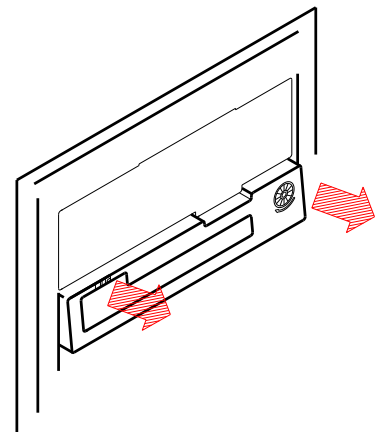
②



③

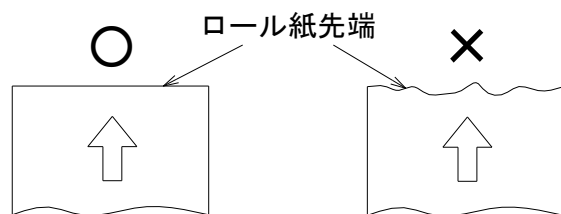


④

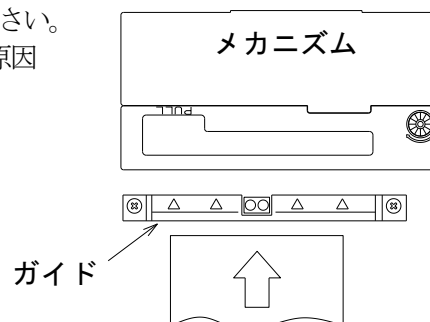


□ ロール紙のセット方法

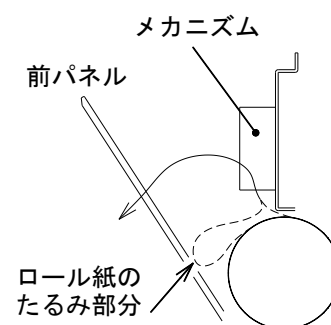
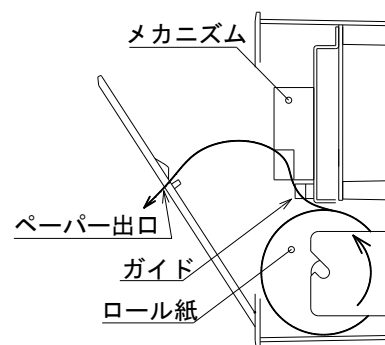
1. ロール紙の紙管にロールシャフトを入れます。
2. ロール紙の巻き方向を間違えない様に注意して ロールシャフトをロールシャフトホルダーにセットします。
3. ロール紙の先端は下図に従って、真っ直ぐにカットしてください。
先端を2つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。



ロール紙先端形状



4. ロール紙をペーパーガイドの△印に沿って挿入します。
5. 印字メカニズムからロール紙が10cm程度出るまでフィードスイッチを押し続けてください。
6. 前パネルあるいはカバーの用紙出口にロール紙を通し、前パネルあるいはカバーをセットします。
7. push部を押して扉をロックしてください。
前パネルを閉じる時にロール紙にたるみがないかを確認してください。
たるみがあると、ロール紙が前パネルとメカニズムに挟まれて印字不良の原因となります。
8. 次の行為はメカニズム破損の原因となるので禁止します。
 - 1) 印字、紙送り中に記録紙を引っ張る。
 - 2) 記録紙を紙送り逆方向へ引き抜く。
9. ロール紙のセット直後に印字を開始する場合があります。
印字する条件時にロール紙が無い場合印字動作ができず、印字データをそのまま記憶している場合に生じます。
印字すべきデータの印字が終了すると自動的に通常の使用状態になります。



注意

ロール紙は、純正品（NR-582）を使用してください。
純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

□ 各種設定方法について（CP-192A）

1. 基本操作

1) [メニュー] による選択

次の内容を [メニュー] を押すごとに印字します。

* 2006年07月31日13時58分20秒 *



日付、時刻の修正方法を印字する



日付を修正する。



時刻を修正する。



YMD表示を設定する。



設定値印字。



インターバルの有無を設定する。



最大値印字の有無を設定する。



外部印字表示の有無を設定する。



インターバル印字を設定。

注意：“インターバル印字を設定”はディップスイッチの設定でSW4をON、SW5をOFFにした時のみ印字されます。

取扱説明書 □ディップスイッチの設定 を参照ください。

2) [ハイ] [イイエ] [》] [+1] による設定

[メニュー] による選択から [ハイ] を押すことでその項目の設定モードになります。

白黒反転された位置の数値を [+1] で変更します。反転位置は [》] で移動します。

年から月、月から日の選択と項目が変わると印字を行います。

設定値は [メニュー] による よろしいですか。 の応答の [ハイ] で最終決定されます。

3) スイッチを30秒間操作しなければ設定モードを終了します。

4) スイッチの操作は先端の鋭利なもの（シャープペンシルの先端等）では行わないでください。

故障の原因となります。ボールペン、あるいはシャープペンシルを使用する場合は、後端のノック側で行ってください。

2. 日付、時刻の修正

1) 具体的な操作

2006年7月31日14時43分21秒を、2006年08月04日14時43分21秒に修正する。

①[メニュー] を押す。

* 2006年07月31日14時43分21秒 *

②[メニュー] を押す。

日付、時刻の修正方法を印字する

③[ハイ] を押すと日付、時刻の修正方法を印字します。

印字を希望しないのであれば[メニュー] を押します。

日付を修正する。

④[ハイ] を押して日付、時刻の修正モードに入ります。

日付を修正する。2006年07月31日

⑤反転印字部が修正出来ますので[>>] を3度押します。

⑥[+1] を1回押します。

⑦[>>] を押し、08月を確認する。

[+1] を1回押す。

日付を修正する。2006年08月01日

⑧[>>] を押し、[+1] を3回押す。

⑨[>>] を押し、内容を確認する。

違っていけば[>>] と [+1] を使用して修正します。

合っていれば[メニュー] を押します。

日付を修正する。2006年08月04日

よろしいですか。2006年08月04日
修正しました。

⑩再確認し、あつていけば[ハイ] を押します。

違ってれば[イイエ] で修正モードに戻ります。

⑪時刻の修正は **時刻を修正する。** と印字を行ったときに

[ハイ] で時刻の修正モードに入ります。

値の変更は[>>]、[+1] で行います。

時刻を修正する。 14時43分29秒

⑫ **修正しました。** が出来て修正完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままの状態となります。

⑬スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード)を中止し、外部からの制御が可能になります。

⑭修正が完了するまで、内臓時計は歩進しています。

2) 修正値の印字について

[>>] で項目が変われば印字します。(月の設定から日の設定へ移動等)

3) 修正値の範囲について

各項目の[+1] による修正範囲は次ぎの通りで、分の上桁の場合5の次は0になります。

2 0 0 6 年 0 7 月 3 1 日 1 4 時 4 3 分 2 1 秒

0~9	0~9	0~1	0~3	0~2	0~5	0~5
0~9	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9

4) 修正エラーについて

誤った値を入力した場合には再度修正モードになります。

例えば、14月や32日や26時の入力が可能です、最終確認で不適当とみなして再入力を求められますので正しい値を入力してください。

3. YMD 表示を設定する

YMD (年月日) の表示を設定します。(電源を入れた時に自動で印字する年月日です)
表示は XX年XX月XX日、もしくは XX/XX/XX の2種類です。

1) 具体的な操作

- ①[メニュー] 操作で“YMD 表示を設定する。”を印字させる。
YMD表示を設定する。
- ②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。
YMD表示を年月日とする。
- ③このままでよければ[ハイ] を押します。
年月日でよろしいですか。
- ④[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。
- ⑤スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

4. 設定値印字

現在の設定値の内容が確認できます。

1) 具体的な操作

- ①[メニュー] 操作で“設定値印字。”を印字させる。
設定値印字。
- ②[ハイ] を押すと各設定値を印字します。
*** 設定値印字 ***
データ入力 BCD
インテックス 有効
最大値印字 有効
インターバル間隔 10分
外部印字表示 有効
YMD表示 年月日
- ③スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。
- ④データ入力の内容は現在の形態を示すのみで
[メニュー] 操作では変更できません。

5. インデックスの有無を設定する

インデックス印字の有効・無効を設定します。

1) 具体的な操作

- ①[メニュー] 操作で“インデックスの有無を設定する。”を印字させる。
インテックスの有無を設定する。
- ②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。
インテックスを有効とする。
- ③このままでよければ[ハイ] を押します。
インテックス有効でよろしいですか。
- ④[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。
- ⑤スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

6. 最大値印字の有無を設定する

最大値印字の有効・無効を設定します。

有効とした場合はトータル印字を行った時に続けて、最大値、最小値、平均値の印字を行います。

1) 具体的な操作

①[メニュー]操作で“最大値印字の有無を設定する。”
を印字させる。

最大値印字の有無を設定する。

②[ハイ]を押して現在の設定を確認する。

最大値印字を有効とする。

③このままでよければ[ハイ]を押します。
違う場合は[イイエ]を押します。

最大値印字有効でよろしいですか

④[ハイ]を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑤スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード（キーモード）を中止し、外部からの制御が可能になります。

7. 外部印字表示の有無を設定する

外部印字表示の有効・無効を設定します。（外部印字でのE表記の設定）

1) 具体的な操作

①[メニュー]操作で“外部印字表示の有無を設定する。”
を印字させる。

外部印字表示の有無を設定する。

②[ハイ]を押して現在の設定を確認する。

外部印字表示を有効とする。

③このままでよければ[ハイ]を押します。
違う場合は[イイエ]を押します。

表示を有効でよろしいですか。

④[ハイ]を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑤スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード（キーモード）を中止し、外部からの制御が可能になります。

8. インターバル印字を設定

インターバル印字の間隔を設定します。

1) 具体的な操作

05分を10分に修正します。

①[メニュー] 操作で“インターバル印字を設定。”
を印字させる。

インターバル印字を設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

インターバル印字を設定。05分

③反転印字部が修正出来ますので[+1] を1度押します。

④[>] を押し、[+1] を5回押します。

⑤[>] を押し、内容を確認する。

インターバル印字を設定。10分

違っていけば[>] と [+1] を使用して修正します。
合っていれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。10分

⑥[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑦スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

2) 修正値の範囲について

各桁の[+1] による修正範囲は 0 ~ 9 で 9 の次は 0 になります。

01 ~ 99 を設定します。00 では印字しません。

3) **修正しました。** の印字を行った場合、ただちに修正モードからインターバル印字のモードになります。(修正モードを中止します)

時間の計測は、内臓時計の1秒の変化をとらえて行っています。

そのためインターバル開始時の最初に最大1秒の誤差が発生する場合があります。

4) インターバル印字の修正方法

次のイ) ロ) ハ) の方法があります。

ロ) ハ) にて停止した場合、再開時は停止時の残り時間後に印字します。

イ) 印字間隔を00分にする。

ロ) ディップスイッチ4をOFF (インターバル印字 無し) にする。

ハ) ディップスイッチ5をON (毎正時印字 有り) にする。

□ 各種設定方法について（CCP-192A）

1. 基本操作

1) [メニュー] による選択

次の内容を [メニュー] を押すごとに印字します。

* 2006年07月31日13時58分20秒 *



日付、時刻の修正方法を印字する



日付を修正する。



時刻を修正する。



YMD表示を設定する。



設定値印字。



使用チャンネルの設定。



リポート外印字を設定。



グラフ外印字を設定。



周波数を設定。



インターバル印字を設定。

注意：“インターバル印字を設定”はディップスイッチの設定でSW4をON、SW5をOFFにした時のみ印字されます。

取扱説明書 □ディップスイッチの設定 を参照ください。

2) [ハイ] [イイエ] [] [+1] による設定

[メニュー] による選択から [ハイ] を押すことでその項目の設定モードになります。

白黒反転された位置の数値を [+1] で変更します。反転位置は [] で移動します。

年から月、月から日の選択と項目が変わると印字を行います。

設定値は [メニュー] による よろしいですか。 の応答の [ハイ] で最終決定されます。

3) スイッチを30秒間操作しなければ設定モードを終了します。

4) スイッチの操作は先端の鋭利なもの（シャープペンシルの先端等）では行わないでください。故障の原因となります。ボールペン、あるいはシャープペンシルを使用する場合は、後端のノック側で行ってください。

2. 日付、時刻の修正

1) 具体的な操作

2006年7月31日14時43分21秒を、2006年08月04日14時43分21秒に修正する。

①[メニュー] を押す。

* 2006年07月31日14時43分21秒 *
日付、時刻の修正方法を印字する

②[メニュー] を押す。

③[ハイ] を押すと日付、時刻の修正方法を印字します。
印字を希望しないのであれば[メニュー] を押します。

日付を修正する。
日付を修正する。2006年07月31日

④[ハイ] を押して日付、時刻の修正モードに入ります。

⑤反転印字部が修正出来ますので[>>] を3度押します。

⑥[+1] を1回押します。

日付を修正する。2006年08月01日

⑦[>>] を押し、08月を確認する。

[+1] を1回押す。

⑧[>>] を押し、[+1] を3回押す。

日付を修正する。2006年08月04日

⑨[>>] を押し、内容を確認する。

違ってれば[>>] と [+1] を使用して修正します。
合ってれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。2006年08月04日
修正しました。

⑩再確認し、あつてれば[ハイ] を押します。

違ってれば[イイエ] で修正モードに戻ります。

⑪時刻の修正は **時刻を修正する。** と印字を行ったときに

[ハイ] で時刻の修正モードに入ります。

値の変更は[>>]、[+1] で行います。

時刻を修正する。 14時43分21秒

⑫ **修正しました。** が出て修正完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままの状態となります。

⑬スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード)を中止し、外部からの制御が可能になります。

⑭修正が完了するまで、内臓時計は歩進しています。

2) 修正値の印字について

[>>] で項目が変われば印字します。(月の設定から日の設定へ移動等)

3) 修正値の範囲について

各項目の[+1] による修正範囲は次ぎの通りで、分の上桁の場合5の次は0になります。

2	0	0	6	年	0	7	月	3	1	日	1	4	時	4	3	分	2	1	秒	
0~9	0~9	0~9	0~1	0~9	0~9	0~3	0~9	0~2	0~9	0~5	0~9	0~5	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9	0~9

4) 修正エラーについて

誤った値を入力した場合には再度修正モードになります。

例えば、14月や32日や26時の入力が可能です。最終確認で不適当とみなして再入力を求められますので正しい値を入力してください。

3. YMD 表示を設定する

YMD (年月日) の表示を設定します。(電源を入れた時に自動で印字する年月日です)
表示は XX年XX月XX日、もしくは XX/XX/XX の2種類です。

1) 具体的な操作

- ①[メニュー] 操作で“YMD 表示を設定する。”を印字させる。
YMD表示を設定する。
- ②[ハイ]を押して現在の設定を確認する。
YMD表示を年月日とする。
- ③このままでよければ[ハイ]を押します。
年月日でよろしいですか。
違う場合は[イイエ]を押します。
- ④[ハイ]を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。
- ⑤スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード)を中止し、外部からの制御が可能になります。

4. 設定値印字

現在の設定値の内容が確認できます。

1) 具体的な操作

- ①[メニュー] 操作で“設定値印字。”を印字させる。
設定値印字。
- ②[ハイ]を押すと各設定値を印字します。
*** 設定値印字 ***
使用チャンネル数 8
シャットアウト時刻 10:00
シャットアウト日 10日
インターバル間隔 00分
YMD表示 年月日
比較値-1 000000
比較値-2 000000
周波数 500Hz
- ③スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード)を中止し、外部からの制御が可能になります。
- ④比較値の内容は現在の設定値を示すのみで
[メニュー] 操作では変更できません。

5. 使用チャンネルの設定

使用チャンネル数の設定をします。

1) 具体的な操作

8を4に修正します。

①[メニュー] 操作で“使用チャンネルの設定。”
を印字させる。

使用チャンネルの設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

使用チャンネルの設定。■

③反転印字部が修正出来ますので[+1] を4度押します。

使用チャンネルの設定。■

④[>] を押し、内容を確認する。
違っていれば[+1] を使用して修正します。
合っていれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。4

⑤[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。
この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑥スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

2) 修正値の範囲について

[+1] による修正範囲は 1 ~ 8 で 8 の次は 1 になります。

6. サブトータル印字を設定

サブトータル印字の時刻を指定します。(設定は時間のみです)

指定された時間に毎正時印字の有りの場合はデータ印字の次に印字されます。

毎正時印字が無しの場合は、サブトータル値のみ印字します。

24時を設定すると印字しません。

1) 具体的な操作

24:00 を12:00に修正します。

①[メニュー] 操作で“サブトータル印字を設定。”
を印字させる。

サブトータル印字を設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

サブトータル印字を設定。 14:00

③反転印字部が修正出来ますので[+1] を2度押します。

④[>] を押し、[+1] を8回押します。

⑤[>] を押し、内容を確認する。

サブトータル印字を設定。 12:00

違ってれば[>] と [+1] を使用して修正します。

合っていれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。 12:00

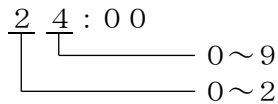
⑥[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑦スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

2) 修正値の範囲について

[+1] による修正範囲は次の通りで、時間の上桁の場合 2 の次は 0 になります。



設定範囲は 00時 ~ 24時までです。25時以上を設定すると修正モードに戻ります。

7. グランドトータル印字を設定

グランドトータル印字を行う日を設定します。

印字時刻はサブトータル印字の印字時刻です。

毎月10日にて月間のデータ集計を行う場合は、10日に設定します。

印字は10日のサブトータル印字時刻に行います。

月末の場合は28日～31日を設定してください。

この範囲を設定した場合は、毎1日のサブトータル印字時刻に印字します。

00日の場合は印字しません。

1) 具体的な操作

15日を20日に修正します。

①[メニュー] 操作で“グランドトータル印字を設定。”
を印字させる。

グランドトータル印字を設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

グランドトータル印字を設定。 15日

③反転印字部が修正出来ますので[+1] を1度押します。

④[>] を押し、[+1] を5回押します。

⑤[>] を押し、内容を確認する。

グランドトータル印字を設定。 20日

違っていけば[>] と [+1] を使用して修正します。

合っていれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。 20日

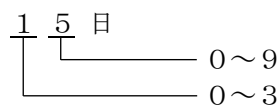
⑥[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑦スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード（キーモード）を中止し、外部からの制御が可能になります。

2) 修正値の範囲について

[+1] による修正範囲は次の通りで、日の上桁の場合 3 の次は 0 になります。



設定範囲は 00日 ～ 31日までです。32日以上を設定すると修正モードに戻ります。

8. 周波数の設定

パルスをカウントする周期を設定します。

ディップスイッチ7番がONの場合は設定できません。

使用環境により細かく周波数を設定したい場合は、次の手順にて変更してください。

1) 具体的な操作

500Hzを200Hzに修正します。

①[メニュー] 操作で“周波数を設定。”を印字させる。

周波数を設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

周波数を設定。 500Hz

③希望の設定になるまで [イイエ] を押します。

周波数を設定。 416Hz

周波数を設定。 333Hz

周波数を設定。 250Hz

周波数を設定。 200Hz

④希望の設定値で [ハイ] を押し “よろしいですか。”を印字させる。

よろしいですか。 200Hz

⑤この設定で良ければ [ハイ] を押し “修正しました。”が印字されて設定完了となります。

設定を変更したい場合は [イイエ] を押して手順③に戻ります。

設定せずに終えたい場合は、[メニュー] を押して次の設定へと移行します。

⑥スイッチ操作を30秒間行わないと修正モード (キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

9. インターバル印字を設定

インターバル印字の間隔を設定します。

1) 具体的な操作

05分を10分に修正します。

①[メニュー] 操作で“インターバル印字を設定。”
を印字させる。

インターバル印字を設定。

②[ハイ] を押して現在の設定を確認する。

インターバル印字を設定。05分

③反転印字部が修正出来ますので[+1] を1度押します。

④[>] を押し、[+1] を5回押します。

⑤[>] を押し、内容を確認する。

インターバル印字を設定。10分

違っていけば[>] と [+1] を使用して修正します。
合っていれば[メニュー] を押します。

よろしいですか。10分

⑥[ハイ] を押して **修正しました。** が出て設定完了となります。

この印字が出ない状態で放置すると修正は完了せず、以前のままとなります。

⑦スイッチの操作を30秒間行わないと修正モード(キーモード) を中止し、外部からの制御が可能になります。

2) 修正値の範囲について

各桁の[+1] による修正範囲は 0 ~ 9 で 9 の次は 0 になります。

01 ~ 99 を設定します。00 では印字しません。

3) **修正しました。** の印字を行った場合、ただちに修正モードからインターバル印字のモードになります。(修正モードを中止します)

時間の計測は、内臓時計の1秒の変化をとらえて行っています。

そのためインターバル開始時の最初に最大1秒の誤差が発生する場合があります。

4) インターバル印字の停止方法

次のイ) ロ) ハ) の方法があります。

ロ) ハ) にて停止した場合、再開時は停止時の残り時間後に印字します。

イ) 印字間隔を00分にする。

ロ) ディップスイッチ4をOFF (インターバル印字 無し) にする。

ハ) ディップスイッチ5をON (毎正時印字 有り) にする。

□ 手動印字について

通常の使用状態で、[ハイ] を押すと印字動作を行います。
各印字データは現在値を示すのみで、集計等には影響を与えません。

CP-192Aの場合

インデックス有効 M 17:03 **** 1234567890 kg

インデックス無効 M 17:02 1234567890 kg

↑
——— 手動印字を示す M を印字します

CCP-192Aの場合

```
14:23 DATA MANUAL PRINT
ジュウ1 11851 392686 kg
クイ 2115.1 70084.8 kg
ジュウ2 243.99 8150.62 TON
ゲンズ 4.038 133.324 m3
カガサ 0.4038 13.3324 kg
ジュウ3 0.04038 1.33324 kg
ジュウ4 4.038 133.324 kg
ジュウ5 104.4 3458.5 kg
```

□ 日付の自動印字について

次の条件時に日付を印字します。

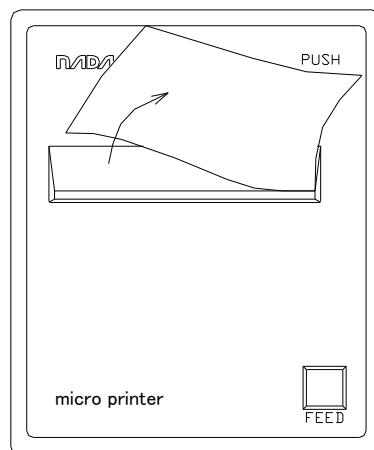
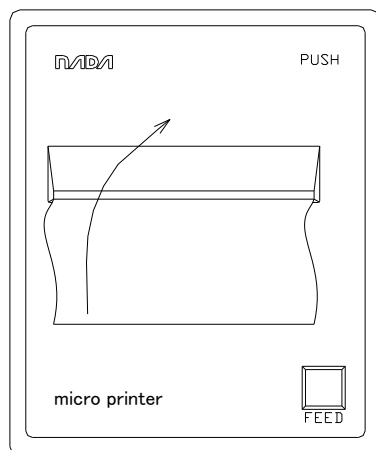
1. 電源投入時
2. 00時00分の日付更新時

ただし、次の条件時には印字しません。

1. メンテナンス時 (DIP SW1が ON)
2. HEXダンプ時 (テスト印字終了後)
3. ペーパーエンド時

□ ロール紙のカット方法

印字後のロール紙のカットは、ロール紙を手前に引かず 上方へ引いてカットしてください。



□ 内蔵時計の停電対策用電池について

1. 電池寿命 充放電500回または5年の使用
2. 充電方法 ニッカド充電電池を使用したフローティング充電方式
(電源が入っている時間が充電時間となります。)
3. 注意
 - 1) 通常プリンタの電源は24時間の連続通電を前提としており、8時間の使用で毎日電源を切った場合には、放電時間が充電時間より長いために電池を消耗し、使用する時に日付、時刻の修正が必要になる場合があります。
 - 2) 電池が完全に消耗した状態では、通電しても時計が停止したままとなる場合があります。5～6時間の連続通電後に日付、時刻の修正を行ってください。
(電池は48時間以上の連続通電で完全充電されます。)
4. 電池交換 工場引き取りにて実施しますので、販売元にご連絡ください。

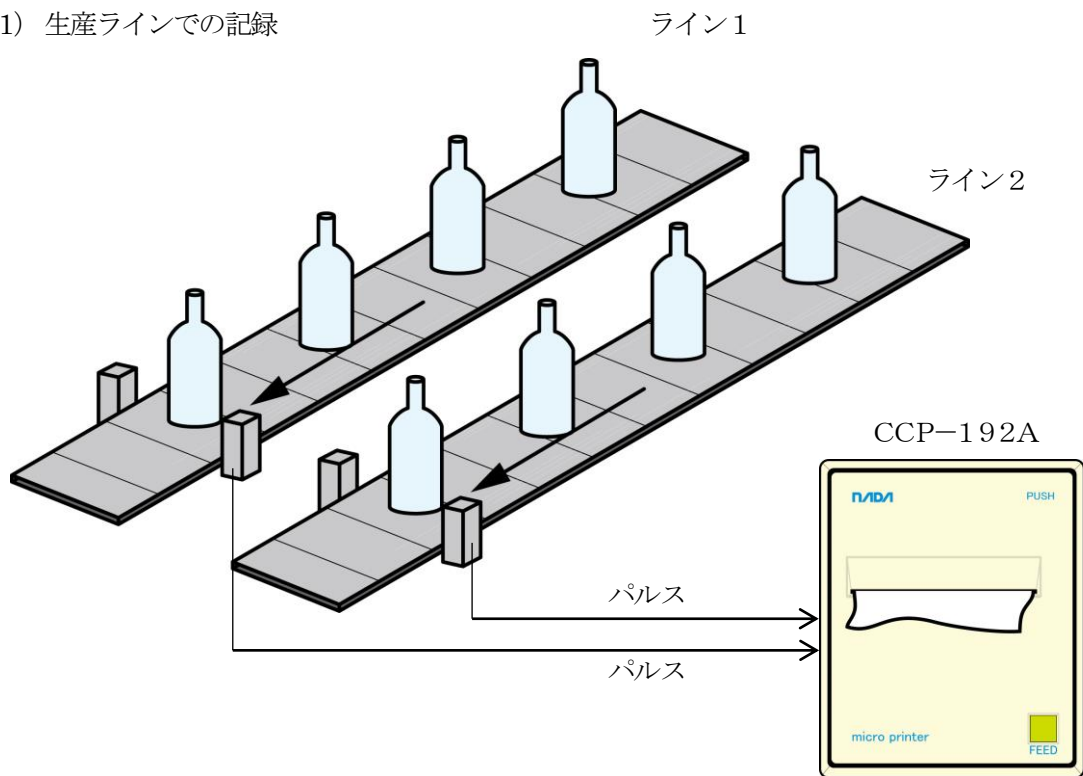
□ 消耗品の購入について

- リボンカセット :型式 IR-91B
購入単位は10巻です。
- ロール紙 :型式 NR-582

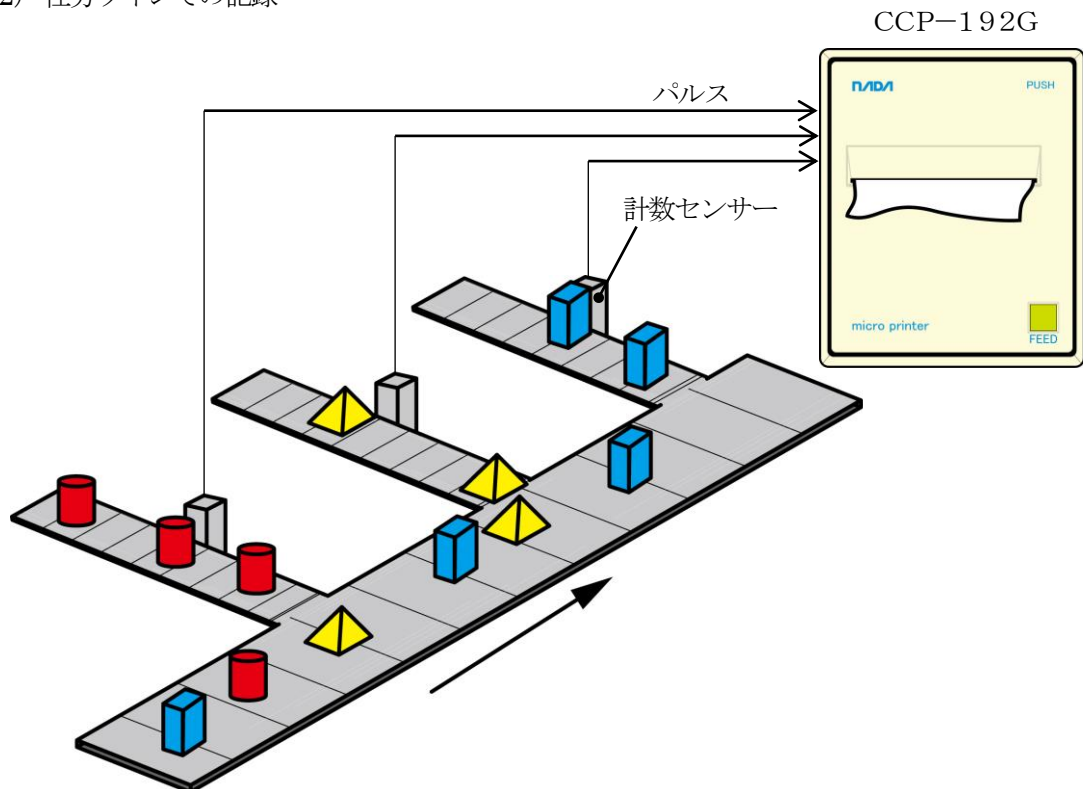
□ 使用例

1. 生産数の記録

1) 生産ラインでの記録

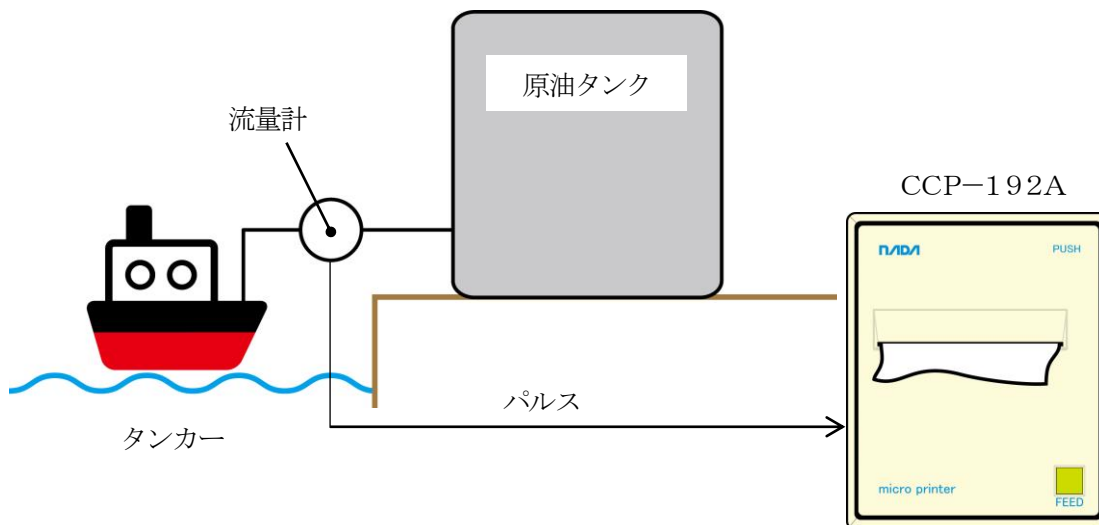


2) 仕分ラインでの記録

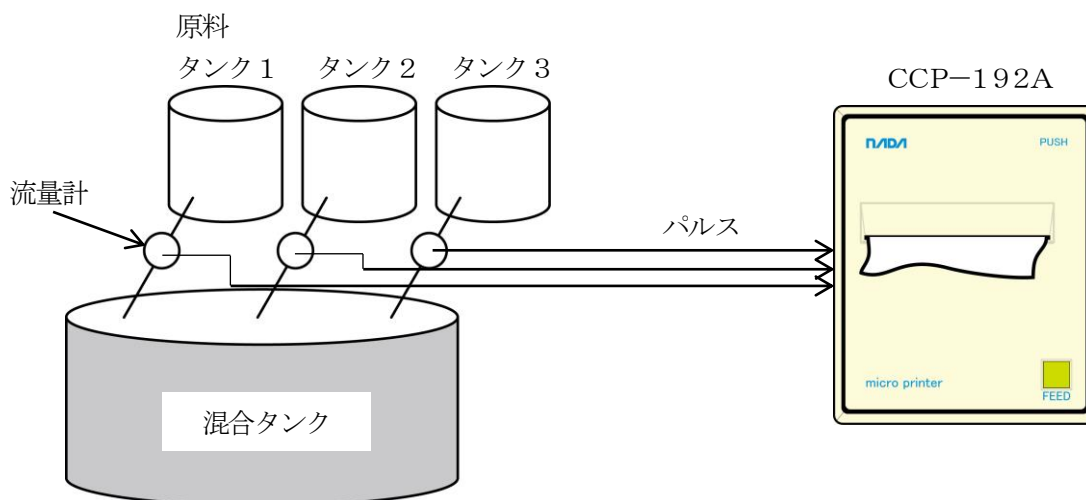


2. 流量の記録

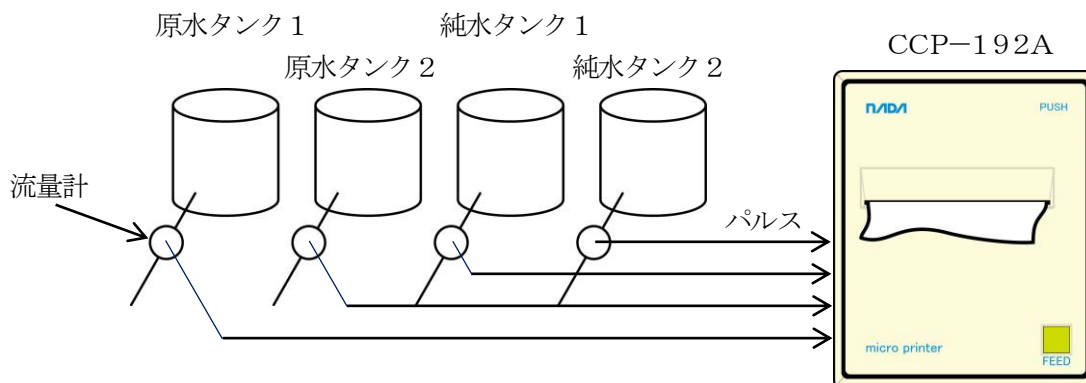
1) 原油タンクへの貯蔵



2) 混合材料の記録

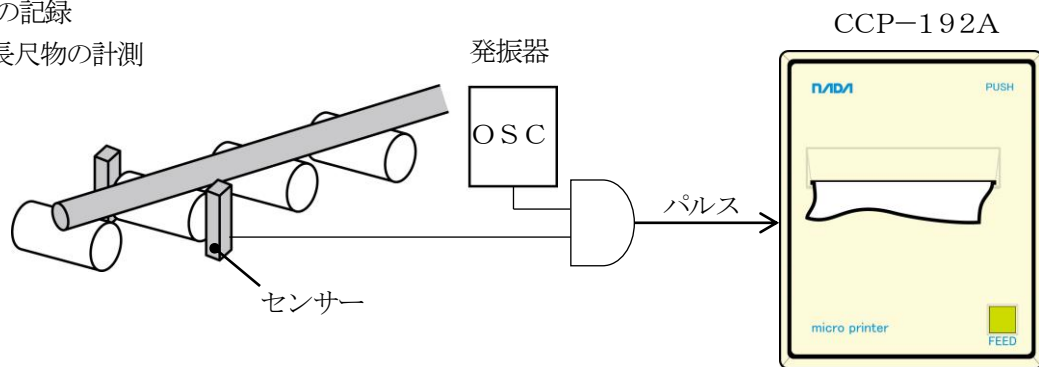


3) 1時間毎の使用水量の記録

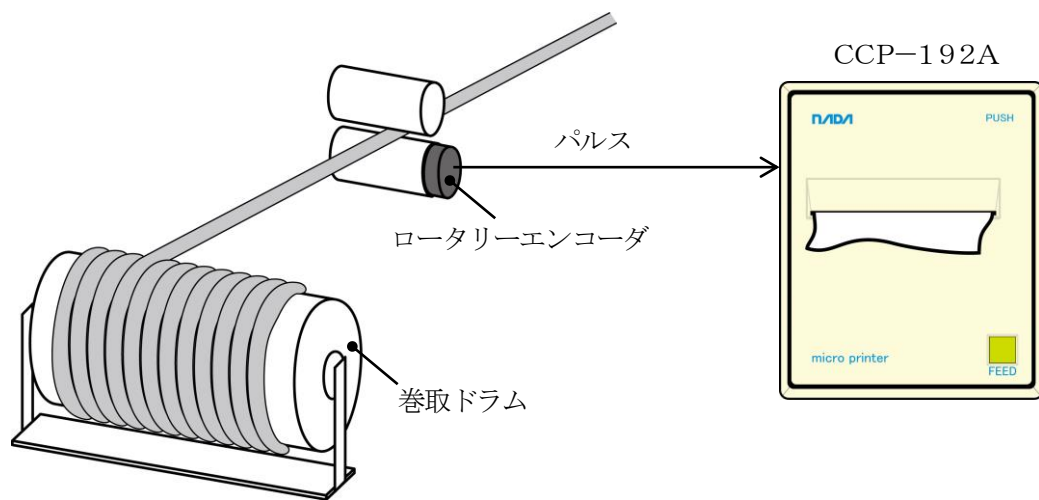


3. 測長の記録

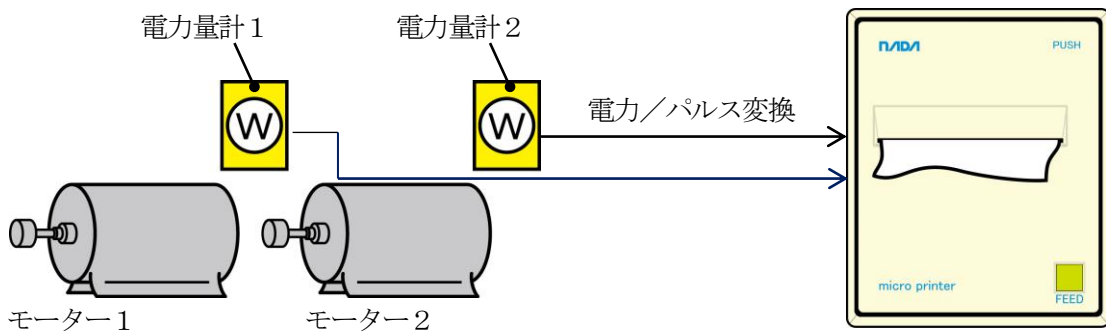
1) 長尺物の計測



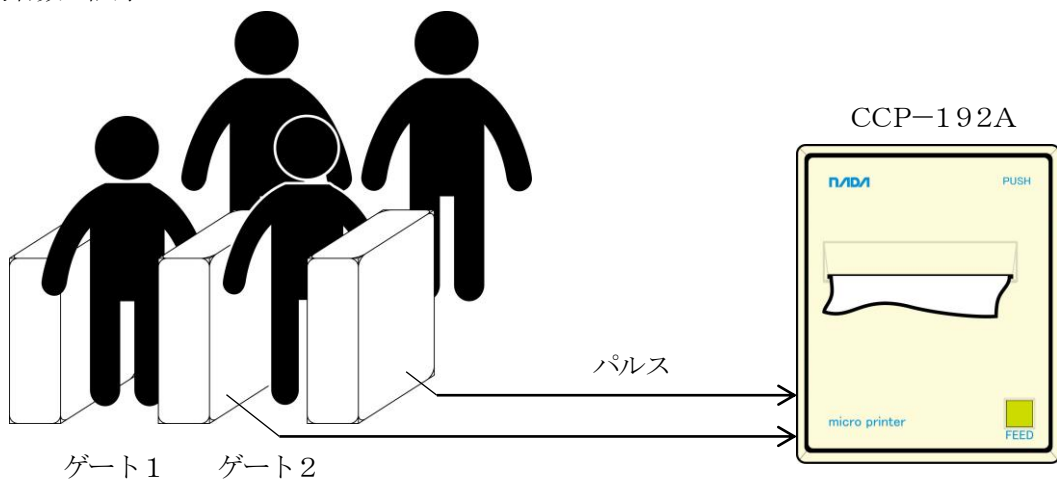
2) 電線, ホースの長さ計測



4. 電力の記録

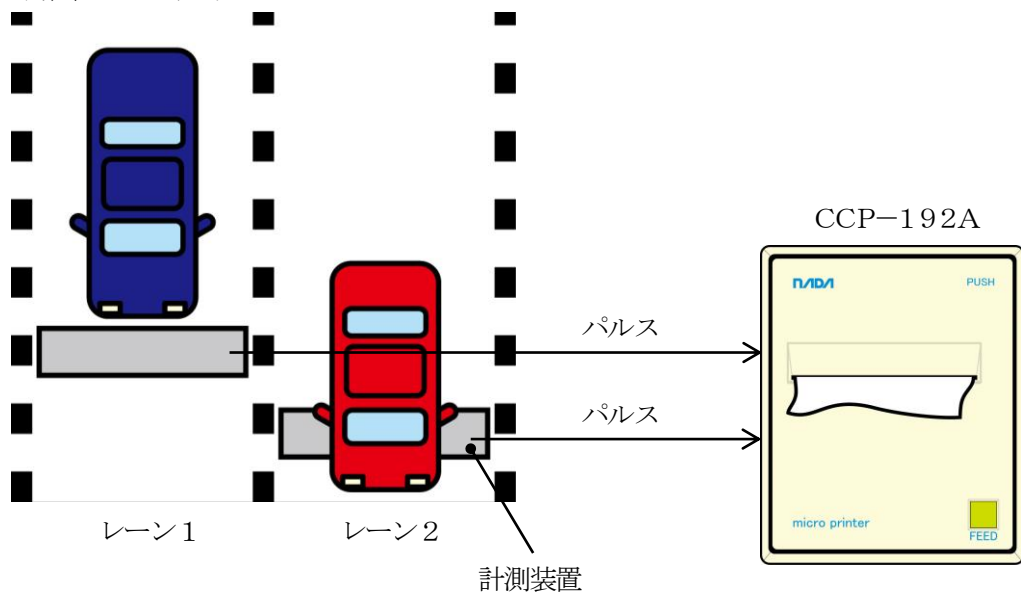


5. 入場者数の記録

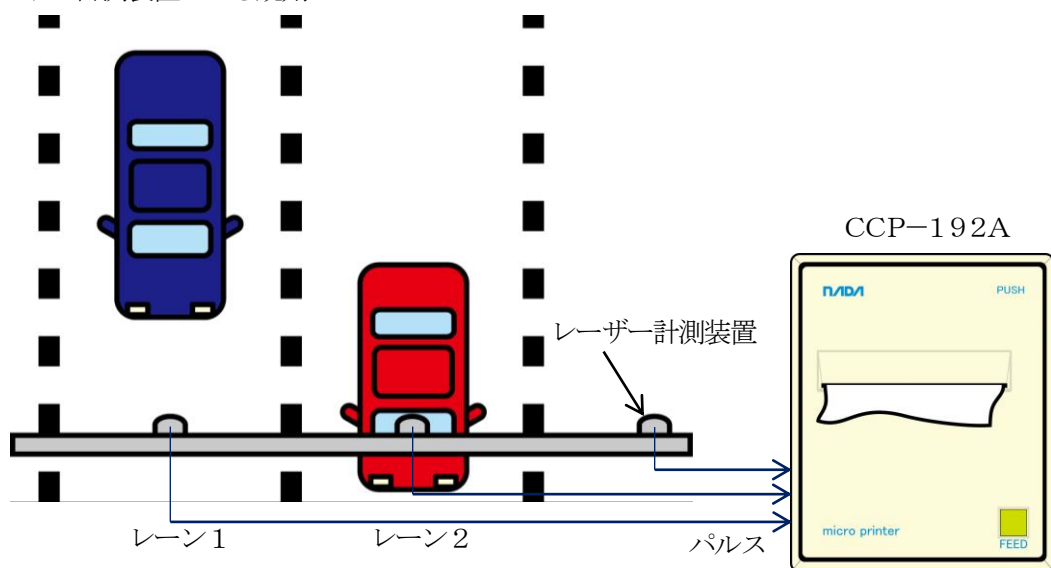


6. 通過車両の記録

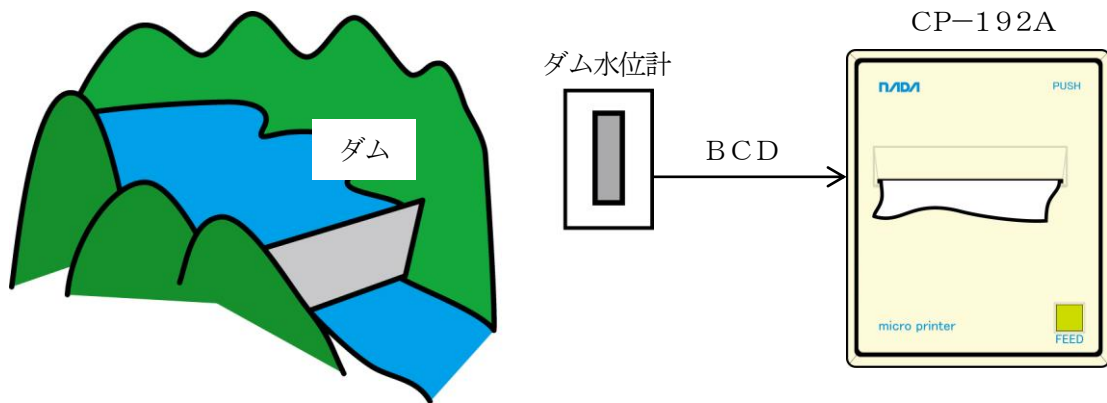
1) 専用計測装置による記録



2) レーザー計測装置による規則

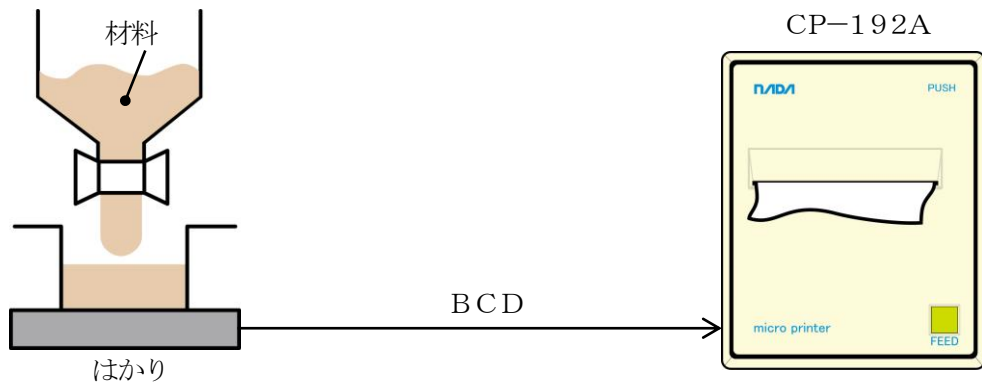


7. ダムの水位の記録

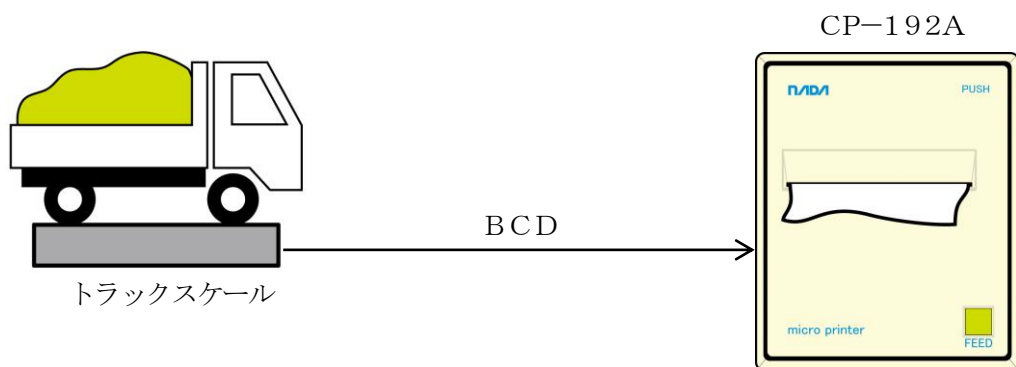


8. 重量測定の記録

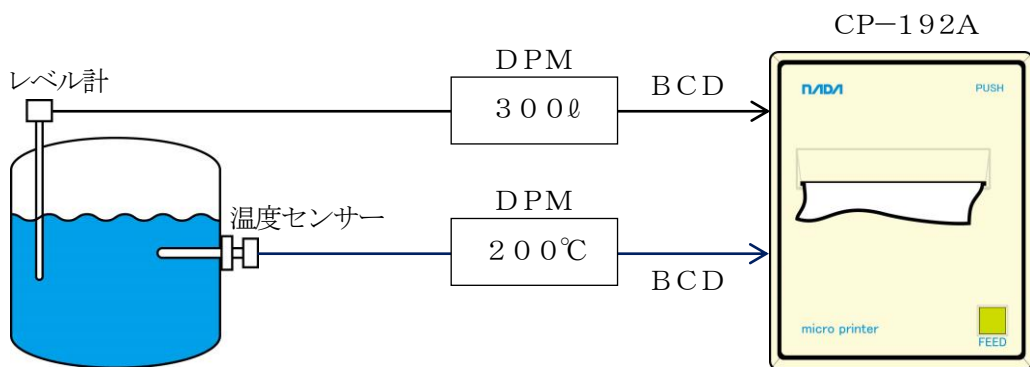
1) 材料投入の記録



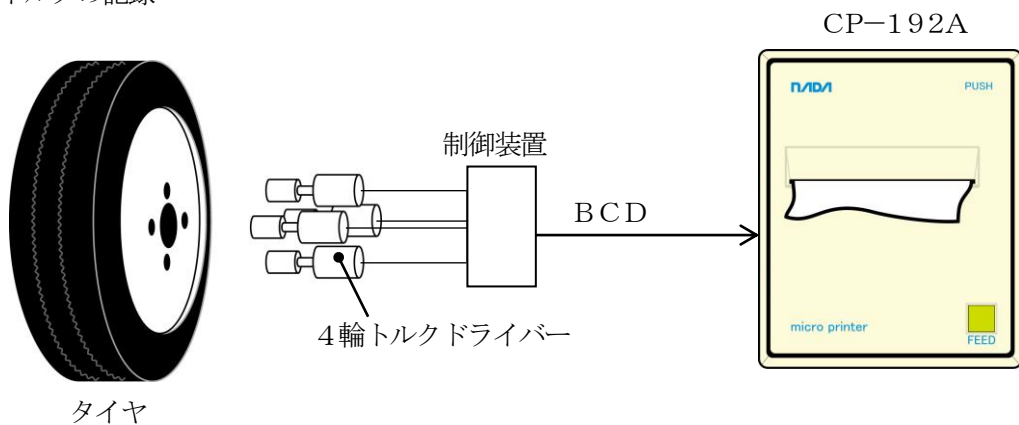
2) トラックスケールによる重量記録



9. 液面、温度の記録



10. 締付トルクの記録





ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016